

第 5 学 年 家 庭 科 学 習 指 導 計 画

5年1組 指導者 重枝孝明

9M (3時間) が本時

学習活動	子どもの意識
第1次 買い物の仕方や物の選び方について考える	9M (3時間)
学習内容 ・ 4つの視点 (知)	・ 4つの視点をもとにした判断 (思) ・ 物やお金の使い方に対する関心 (態)
<p><input type="checkbox"/> 欲しい物をどのようにして買うかについて考える (3M)</p> <p><input type="checkbox"/> 欲しい物を手に入れる方法について考える (3M)</p> <p><input type="checkbox"/> どの商品を買うかについて考える (3M)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私はスーパー、服屋さんなどで買い物をしたことがあるよ。Aさんはインターネットで買い物をするのだって。お店とインターネット、どちらで買うのがよいのかな。私はお店かな。服は試着して着心地を確かめたいからね。Aさんはインターネットがよいと言っているよ。お店に行かなくても、家で簡単に買えるからなのだって。でも、インターネットでの買い物は、トラブルも多いと聞いたことがあるよ。現金を使わずに買い物をすることにもなるから、よく値段や商品を確認することが大事だね。このような考え方を、家庭科では「安全」の視点というのだね。また、買い物の仕方、お店からインターネット、現金からカードというように変化してきているのだね。このような考え方を、「生活文化」の継承や創造の視点というのだね。2つの視点をもとにお店とインターネットでの買い物について考えてみると、どちらにもよさがあることが分かったよ。 ・ 先生が、先生の子どもが着る服が欲しいのだって。でも、すぐに大きくなってサイズが合わなくなるし、子ども服は高いからどうしたらよいか悩んでいるのだって。だったら、新品ではなく、古着屋さんで買ったらいいのではないかな。買う以外にも手に入れる方法があるね。ゆずってもらうこともできるよ。あげる側も捨てなくてよいというよさがあるね。このような考え方を「持続可能な社会」の視点というのだね。Aさんが、着なくなった大人の服を子ども用に作りかえるという方法もあると言っているよ。奥さんと一緒に作って見たらよいのではないかな。これは、「協力」の視点というのだね。家族でお金を出し合ってパソコンを買ったり、一緒に使ったりするのも、「協力」の視点をもとにした、欲しい物を手に入れる方法だね。「持続可能な社会」と「協力」の視点を合わせると、いろいろな方法を考えることができたよ。 ・ 先生が実家に帰ったときに家族で食べるおやつに何を選ぶかについて考えるのだね。いろいろがよいのではないかな。和菓子だからおばあちゃんも好きだろうし、「生活文化」の継承にもつながるよ。「持続可能な社会」の視点で考えると、山口市の特産品だから地産地消だね。4つの視点で考えると、迷うけどよりよい判断ができるね。自分の家族だったらどうかな。Aさんは、おせんべいを選ぶのだって。お父さんのことを考えて、甘いものを控えるようにしたのだって。「健康」の視点で考えているのだね。4つの視点の中で大事にするものは、何について考えるかによって変わりそうだね。これからの題材も4つの視点で捉えられるのではないかな。「食べて元気に」では、「健康」の視点と関係がありそうだ。これから、4つの視点を意識しながら学習を進めていこう。